

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

校訓「全力をつくせ」のもと、知・徳・体の調和をとり、自らを高め、仲間と共に未来を拓く子供の育成をめざす。

- ・自ら学ぶ子・・・練習を重ね基礎力をつけ、問題意識をもって追究する子供
- ・心豊かな子・・・命と心を大切にし、豊かな想像力をもった子供
- ・体鍛える子・・・「心・技」を重んじ、丈夫な体を自らつくり上げていく子供

(2) 経営方針

本校の教育活動は、子供一人一人に内在する力を引き出し、それを伸ばすために行う。様々な人や自然風土や地域社会とのかかわりの中で、子供の命の輝きが育まれる学校創りをする。また、持続可能な社会の担い手としての資質向上をめざす。

- ア 子供の良さと可能性を見つけ、認め、育み、鍛え、その力を最大限に引き出す教育活動を創意工夫して展開する。(子供が輝く学校)
- イ 教育者としての使命感をもち、子供をとらえ、一人一人を生かし、命と心を大切にしたい指導のできる力量に富んだ職員を育てる。(職員が輝く学校)
- ウ 情報公開、家庭や地域との連携、学校評価を積極的に進める中で、子供の活動を通して、家庭や地域との絆を深め、信頼される学校をめざす。(学区を輝かせる学校)

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 自他を敬愛し、互いに支え合おうとする子供の育成
 - ・共生の実現に向けた教育の推進 ・チーム学習を取り入れた協働的な学び合いの構築
 - ・①チャレンジ②全力③輝き 児童会考案の3つのキーワードで日本一の学校を目指す
- イ いじめ、長期欠席対応
 - ・行事を通し、子供の達成感と活動意欲を向上 ・迅速かつ組織的な指導体制の構築
 - ・子供、保護者に寄り添った指導実践 ・目標に向け、安心して挑戦できる学校文化
- ウ 保護者や地域との密な連携
 - ・HPや情報配信メールの活用と学校運営協議会組織の体制整備とその展開
 - ・子供の姿を適切に伝え、共有することで、家庭・地域と連携した指導の充実
 - ・地域人材を生かした教育活動の推進と学校による地域への貢献活動
- エ 多忙化解消にかかる業務改善
 - ・会議時間の短縮、各種打合せの効率化(議題の精選・回数削減)
 - ・1年間の行事予定を見通し、無理のない学年行事の計画と実施
 - ・教員のタイムマネジメント力の向上 ・高学年、中学年での一部教科担任制の取組

(4) 目指す教師像

- ア 子供の手本となる教師
 - ・自らあいさつ ・整理整頓 ・丁寧な言葉遣い
- イ 子供の成長を支える教師
 - ・子供の話を最後まで聞く行動 ・常に子供の側にいるという意識と行動
- ウ 危機対応力の向上を目指す教師
 - ・未然管理が第1歩であるという意識の徹底 ・子供を全力で守るという組織づくり
 - ・いざというときは、被害を最小限にする行動の徹底